

<p>国鉄改革完遂！ 当たり前の労働運動を 前進させよう！ JR 東海労に 結集しよう！</p>	<p>J R 東海労</p>	<p>静岡</p>	<p>J R 東海労働組合静岡地方本部 〒420-0851 静岡市葵区黒金町68番地 N T T 054-284-3608 発行責任者： 半場弘恭 2023年 2月26日 No.29</p>
--	-----------------------------	-----------	--

2023 J R 総連春闘を職場から闘おう①

第32回定期地本大会開催

2月26日、私たちは静岡男女参画センター「あざれあ」において、第32回定期地方委員会を開催し2023 J R 総連春闘を中心とした春の闘いの意思統一を行ないました。

会社は、800億円のコストと2,500人を削減する「業務改革」と称する大効率化を発表し、多くの社員から不安の声が相次いでいます。

建設費が7兆円を超えたりニア建設に対して、会社は返済計画や資金調達の見込を明らかにしていません。更に、多くの問題に対して解決の方向性を見いだせていません。経営破綻へ向かわせるりニア建設には、反対の闘いを沿線住民や市民団体などと連帯して闘います。

岸田政権は、反撃能力の盛り込んだ安保関連3文書改定を閣議決定しました。防衛費をGDP比2%へ拡大し、ウクライナ戦争を口実に防衛力強化と憲法改悪に向けた世論形成を目論んでいます。9条連をはじめとする仲間と連帯して闘います。

2023春闘においてJ R 東海労は、連合要求である3%（社員の平均で、9,000円）と生活向上分を含め、ベア1万円を要求しています。また、定期昇給6,000円、夏季手当3.5ヶ月、諸手当改善、労働条件改善を要求しています。

一方J R 連合は、連合要求に遠く及ばないベア1%、3,000円の要求を決定しています。またしても低額相場を作ろうとしていると言えます。この間の低額即妥結も然り、御用組合の役割を遺憾なく発揮しているのではないのでしょうか。

**この物価高の中、物価上昇分の賃金要求を
 求めるのは当然では！**